

安全運転 ほっとNEWS



平成19年7月号

今月のデータ

30倍

時速50kmで正面衝突をした場合、瞬間的にかかる負荷の大きさです。10kgの子どもならば300kgにもなり、抱っこで支えきることはできません。



TOKIO MARINE
NICHIDO

MILLEA GROUP

車両の安全装置をよく知ろう!

近年に見られる交通事故死者数の顕著な減少傾向は、次々に開発される安全装置が大いに貢献していると言えます。しかし、これらの装置は正しく使ってこそ、その性能を発揮できます。

ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)

急ブレーキをかけたときにタイヤの回転が止まる(ロックする)のを防ぎ、クルマの安定性とハンドルの利きを確保できる装置です。制動距離を短縮し、また急ブレーキをかけながら前方にある障害物を回避する操作能力が高まります。ただし、凍結路面や砂利道を走行している場合は、ABSが正常に作動しても、非装着車と比べて制動距離が伸びることがあります。



ここをよく知ろう

- ☆ABSは、ブレーキペダルを目一杯踏み込んだ状態で正常に作動します。ポンピングブレーキをしたり、ABS作動中にペダルにはね返ってくる振動や音に驚いてペダルを踏む力を弱めてしまうと、ABSは効果的に作動しないと理解しておきましょう。
- ☆ABSは緊急時のみ使用し、普段は車間距離を十分にとり、また、カーブの手前では速度を落として安全運転をしましょう。

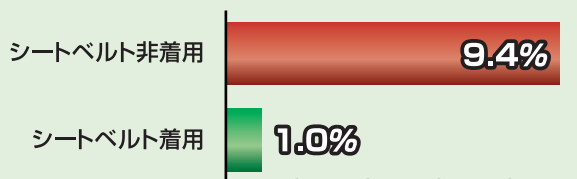
エアバッグ

SRSエアバッグと呼ばれています。正面衝突によって車両が強い衝撃を受けると、瞬時に膨んで乗員の頭部や胸部にかかる負担を軽減します。

また、サイドエアバッグが装備されていれば、側面衝突時に上体への衝撃を軽減します。



ここをよく知ろう

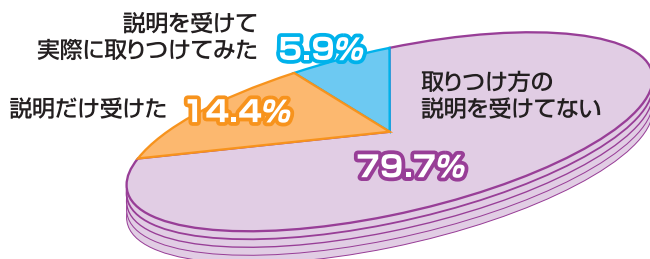


エアバッグ作動時におけるシートベルト着用、非着用別死亡率
(平成13年・(財)交通事故総合分析センター調べ)

☆センサーが強い衝撃を感知すれば、衝突事故が起ころなくても作動する場合があることを知っておきましょう(縁石に激しく当たったとき等)。

☆シートベルトの補助装置であるため、ベルト非着用時の事故では効果が期待できないばかりか、逆に大けがに繋がることもあります。

チャイルド・シート



幼児用チャイルド・シートの取り付け状況(平成18年・JAF調べ)

衝突安全性能の高いチャイルド・シートを使用しても、取り付け方が緩いなど不具合があったために大切な子どもの命を守れなかった事例もあります。また、車両とシートには相性があるため、購入前によく確認し、実際に取り付けを試してみることをお勧めします。

ここをよく知ろう

☆生後12か月までの乳児用は、後部座席に後ろ向きで取り付けます。

☆チャイルド・シートを正しく使用して、大切な子どもの命を守ってあげることは大人の責務です。



ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課